

資 材 内 訳 書

林小班	伐採種	面積 (ha)	法制限	立木 仕掛品 別	樹 種	資 材			生産予定材積(m3)			備 考	
						類 別	本 数	材 積	一般材	低質材	計		
410 ろ	間伐 (定性)	3.65	水涵保	立木	スギ	一般材	957	324.45	170	170	340	育成受光伐 70 年生 定性間伐 伐採率 20 %	
						低質材	522	161.36					
						計	1,479	485.81					
					ヒノキ	一般材	39	28.32		10	10		
						低質材							
						計	39	28.32					
					計	一般材	996	352.77	170	180	350		
						低質材	522	161.36					
						計	1,518	514.13					
413 に	間伐 (定性)	9.31	水涵保	立木	スギ	一般材	2,174	597.40	275	285	560	育成受光伐 63 年生 定性間伐 伐採率 20 %	
						低質材	856	216.46					
						計	3,030	813.86					
					計	一般材	2,174	597.40	275	285	560		
						低質材	856	216.46					
						計	3,030	813.86					
419 い1	間伐 (定性)	11.69	水涵保	立木	スギ	一般材	4,963	1,913.28	640	860	1,500	育成受光伐 60 年生 定性間伐 伐採率 35 %	
						低質材	1,457	332.19					
						計	6,420	2,245.47					
					計	一般材	4,963	1,913.28	640	860	1,500		
						低質材	1,457	332.19					
						計	6,420	2,245.47					
419 ろ	間伐 (定性)	1.92	水涵保	立木	スギ	一般材	23	5.28		5	5	育成受光伐 81 年生 定性間伐 伐採率 20 %	
						低質材	28	4.64					
						計	51	9.92					
					ヒノキ	一般材	608	303.21	60	95	155		
						低質材							
						計	608	303.21					
					計	一般材	631	308.49	60	100	160		
						低質材	28	4.64					
						計	659	313.13					
420 い2	間伐 (定性)	0.55	水涵保	立木	ヒノキ	一般材	210	55.71	10	20	30	育成受光伐 67 年生 定性間伐 伐採率 20 %	
						低質材	98	19.40					
						計	308	75.11					
					計	一般材	210	55.71	10	20	30		
						低質材	98	19.40					
						計	308	75.11					
育成受光伐 計		27.12			スギ	一般材	8,117	2,840.41	1,085	1,320	2,405		
						低質材	2,863	714.65					
						計	10,980	3,555.06					
					ヒノキ	一般材	857	387.24	70	125	195		
						低質材	98	19.40					
						計	955	406.64					
合 計		27.12			スギ	一般材	8,974	3,227.65	1,155	1,445	2,600		
						低質材	2,961	734.05					
						計	11,935	3,961.70					
					ヒノキ	一般材	857	387.24	70	125	195		
						低質材	98	19.40					
						計	955	406.64					
					計	一般材	8,974	3,227.65	1,155	1,445	2,600		
						低質材	2,961	734.05					
						計	11,935	3,961.70					

# 事 業 条 件 調 書

事業名：仁科地区森林環境保全整備事業(育成受光伐)【R7補正翌債・競争】

伊豆森林管理署

物件番号 (単位)	林小班	伐採種	伐採率 %	実行面積 ha	樹種	林齡	立木(資材)					生産量(素材)		作業条件						備考				
							本数 本	材積 m³	材積 m³/ha	平均樹高 m	平均胸高 cm	平均单木材積 m³	生産量 m³	適用利用率 (歩止り) %	事業地			伐倒 方法	集材方法		完了地点別内訳			
															林地傾斜	下層植生	通勤距離 車・片道 km							
1	410 ろ	間伐	20	3.47	スギ	70	1,479	485.81	700	15	24	0.33	340	68%	21~30°	中	19.0	定性	フォワーダ	226	210	340		
			20	0.18	ヒノキ		39	28.32	787	21	32	0.73	10								10	10		
	413 に	間伐	20	9.31	スギ	63	3,030	813.86	437	14	22	0.27	560	69%	21~30°	中	19.9	定性	フォワーダ	663	360	560		
	419 い1	間伐	35	11.69	スギ	60	6,420	2,245.47	549	17	22	0.35	1,500	67%	21~30°	中	20.4	定性	フォワーダ	675	890	1,500		
	419 ろ	間伐	20	0.06	スギ	81	51	9.92	827	16	18	0.19	5	51%	21~30°	中	20.4	定性	フォワーダ	80	5	5		
			20	1.86	ヒノキ		608	303.21	815	20	24	0.50	155								105	155		
	420 い2	間伐	20	0.55	ヒノキ	67	308	75.11	683	17	18	0.24	30	40%	20° 以下	中	20.4	定性	フォワーダ	6	20	30		
計				27.12			11,935	3,961.70					2,600								1,600	2,600		

※1 予定価格算出基礎の一部を示すものであり、技術提案の内容によって、本条件調書と合わない場合がある。

※2 本条件調書の内容と現地が一致しない場合は現地を優先する。

## 単位工程別内訳書

事業箇所	材種	単位工程	予定数量	備考
仁科国有林 410号林小班外	立木  素材	全木伐倒	3,961.70m <sup>3</sup>	育成受光伐
		プロセッサ造材	2,600 m <sup>3</sup>	育成受光伐
		フォワーダ集運材	2,600 m <sup>3</sup>	育成受光伐
		山元トラック運材	155 m <sup>3</sup>	一般材を土肥山元土場へ運搬 (距離約15km)
		山元トラック運材	1,445 m <sup>3</sup>	低質材を土肥山元土場へ運搬 (距離約15km)
		機械巻立	1,600 m <sup>3</sup>	システム販売材(一般材・低質材)を土肥山元土場にて巻立
		山元検知	155 m <sup>3</sup>	土肥山元土場にて毎木検知 (木口表示・野帳記入・本数突合・白帯塗布)

※土肥山元土場へ運搬された低質材については、職員による層積検知により数量を確定する。

## 完了検査場所内訳書

材種	検査場所	完了予定数量	備考
素材	土肥山元土場	155 m <sup>3</sup>	スギ(4.0m) 毎木検知
	土肥山元土場	1,445 m <sup>3</sup>	低質材(2.0m、4.0m)